記事は正式議事録を参照に編集しております。

新政クラブニュース

2018年2月
第７号

新政クラブは、真利一朗・阪口芳弘・松波謙太・南野敬介が所属する会派です。二〇一七年一年間の議会での取り組みについて掲載いたします。

まつなみけんた 松波謙太

《代表質問》

三月九日に行われた第一回定例会にて代表質問を行いました。

◎学校現場における防災教育について

◆松波謙太議員

防災教育は、自ら危険を予測し回避する能力を高め、命を守る行動につながり、学んだ事は、卒業後も生涯活用されるものです。

「釜石の奇跡」は誰もが知るところですが、その背景は教育で子どもが身につけた対応力が想定外を乗り越えたと言われており、義務教育において社会の防災、減災力の向上など、災害全般に対する理解、学習することがふさわしいとされています。

そんな中、市区町村の教育委員会など教育行政、教育現場は、発達の段階に応じた防災教育、防災管理等に取り組んでこられました。

各学校において、学校安全をどうとらえ、防災にどう対応し、いかに児童・生徒を守るか、近年の学校の現状の課題を検討する必要があります。

中央防災会議の発表で南海トラフ地震で被害は、死者数約三二万三〇〇〇人、負傷者約六二万三〇〇〇人と予想されています。

生きる力を育む防災教育を児童・生徒に対し、教科内でどの程度の年間時間を設けているのか。

また、教師、職員向けの防災教育研修や地域性を考慮した学校防災マニュアルの作成、児童・生徒への発達段階に応じた防災教育の内容についてもお尋ねします。

◎西敏明教育長

小・中学校では、火災、地震、津波、不審者侵入等の避難訓練の実施を初め、日常生活の中に存在する危機に気づき、適切に対応できる実践的な能力や態度、望ましい習慣の形成を目指して、学級活動や学校行事等で防災指導を行っております。

また、防災について適切な意思決定ができるよう防災学習を行っております。

教職員向けの平成二八年度防災教育研修は、六月に各幼・小・中学校の担当者を対象に、また十一月には校園長会・主査会合同研修で、市の危機管理担当を講師に迎え、貝塚市における防災対策・校区に特化した防災の課題・その対策についての研修を実施いたしました。

これを参考に、各学校で毎年作成している防災マニュアルの改善に取り組んでいます。

◆松波謙太議員

少し気になる研究結果があります。

教育心理学研究の実践研究の中で、小学校五・六年生を対象に、防災教育が保護者の防災行動に及ぼす影響が調査されたものです。

防災教育を行った前後三箇月の恐怖感情や脅威への帰着性、脅威の深さ、反応効果性を測定した結果、防災教育直後の保護者は、感情や認知の高まりが確認されたのが、三箇月後には防災教育前の水準まで戻った事も確認されました。

防災意識は持続しない事を前提に、今後定期的に再学習をする機会を持つ事が必要だと思います。

保護者や家族への伝達意図を高くする教育の内容を工夫するのが有効と言われています。

効果的な防災教育が問われている中、児童・生徒へ再学習と効果的な防災教育についてどう考えているのか。

◎西敏明教育長

防災指導は、子どもたちが実際に体を使って動きながら学んでいくというやり方です。

年間三回（火災・地震・不審者）行っています。

教科における学習も行われているので何時間使っているというよりは、普通の授業の中で学習して勉強するが大切と考えます。

保護者にも学んだ後の「喉元過ぎれば熱さを忘れる」というこの問題は、非常に難しいと思います。

子どもたちにも保護者の皆さんにも刺激を与えられるような取組みを研究してみたいと思っております。

【代表質問でその他の質問】

◎子育て環境の充実について
◎スポーツを通じた交流・地域づくりについて
◎遊休地を利用してのスケートボード場の整備について
◎学童保育の現状について
◎高齢社会の居場所づくりについて
◎空き家・空き地対策について
◎消防団の現状と課題について
◎学校現場における防災教育について
◎放置自転車対策について
◎ＪＲ東貝塚駅の将来像と安全対策について
◎津田浄水場の整備について
◎地域資源を活かした観光推進について
◎部落差別解消法成立に伴う本市の見解について

【第三回定例会（九月）での　質問項目】

◎木造建築物密集地域の防災について
◎既存民間建築物の耐震基準調査内容と防火構造改修補助制度について
◎用水路等の転落防止対策について

松波謙太議員議会での役職

・議会運営委員会委員
・厚生文教常任委員会委員
・防災・環境問題対策特別委員会委員長
・貝塚市都市計画審議会委員

新政クラブニュースは政務活動費を使用して作成しています。35,000 枚作成。1 枚単価 3.60 円。総単価 7.46 円

新政クラブニュース

2018年2月
第７号

新政クラブは、真利一朗・阪口芳弘・松波謙太・南野敬介が所属する会派です。二〇一七年一年間の議会での取り組みについて掲載いたします。

記事は正式議事録を参照に編集しております。

なんのけいすけ 南野敬介

《第二回定例会一般質問》

六月十三日に開催された第二回定例会での一般質問です。

◎婚活の取り組みについて

◆南野敬介議員
婚活には人口減少をどう食いとめるかという視点も要ると思います。
貝塚市の人口もピーク時から徐々に減ってきています。
国立社会保障・人口問題研究所の人口統計で、何もしなければ二〇四〇年には七万七千人となると指摘されています。
その中で、四月から社会福祉協議会（社協）で結婚相談が始まってるが、具体的に何をしているのか。

◎福祉部長
市内在住・在職者を対象に、登録手続きし、中から希望の相手を選び、双方合意により、初回は相談員の立会いの下でお見合いを行います。
また、結婚、交際、結婚生活等における悩み事についても、可能な限り相談を受けます。

◆南野敬介議員
六月の段階で、何らかの形で成果があったのですか。

◎福祉部長
六月五日現在で登録者が七名。それ以降、予約が四件入っています

◆南野敬介議員
現在社協で取り組まれていますが今度は貝塚市として取り組みますか。

◎都市政策部長
人口減少の抑制等を掲げた貝塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略を平成二七年一〇月に策定し、「若者が住み続けたいまちづくり」や「子どもを産み、育てやすいまちづくり」、「賑わいと活気にあふれ、愛着と誇りを感じるまちづくり」を積極的に取り組んでいるところです。
「創生総合戦略」を本年度中に改定する予定で、その中で婚活に関する施策を追加する方向で検討したい。

◆南野敬介議員
貝塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略に加えていくということですが、いつぐらいをめどに改定しようとしていますか。

◎都市政策部長
今年度が貝塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中間年になり、今年度で策定する予定です。

◆南野敬介議員
我々新政クラブは政務調査で神奈川県海老名市を訪れました。
海老名市で「縁結びタクシー事業」という事業が取り組まれています。
海老名市の名所をタクシーを使って訪れ、その際運転手が勉強して名所案内する丸一日の企画です。
実費で、海老名市周辺の結婚相談所に声をかけ、周辺の自治体からも援助をいただき実施しました。
そこで三〇名の参加者がありカップルが五組できたと。他市の参加者でも将来的に海老名市に居住してもらうための投資という視点でした。
そこで、貝塚市でも、観光地もあり、水鉄タクシー・水鉄バス・水間鉄道もあります。
公共交通機関を使い縁を貝塚市に呼び込むということも考えてはどうか。

◎都市政策部長
先ほど議員からいただいた提案等も含めて改定の中で検討していきたいと考えております。

◆南野敬介議員
これは一つの案です。婚活は、今の若者は何を求めているのかで全然変わってくると思うので、その辺をリサーチして、何が貝塚市の魅力を感じるように情報を発信できるのか、またどんな仕組みができるのかというのを考えないといけない思うんですが、その際、どこの課が窓口になるのかや、整理の仕方など、今の段階でどう考えているのか。

◎都市政策部長
貝塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略の窓口は政策推進課です。
その中の検討材料の中でどこの担当が最終的に持つかということも含めて検討してまいりたいと考えております。

【予算特別委員会でその他の質問】
◎せんごくの杜管理事業について
◎情報発信事業について
◎人権推進費について
◎コンビニエンスストア収納推進事業について
◎本人通知制度について
◎旧と畜場管理事業について
◎水間鉄道安全輸送整備について
◎空き家等対策事業について
◎公園緑地管理事業について
◎市営住宅の入居基準について
◎スケートボード場の整備について

【第二回定例会（六月）での　その他質問項目】
◎がん対策推進条例について

【第四回定例会（十二月）での　質問事項】
◎性的マイノリティ支援について
◎藤原市長二期八年の総括と三期目に向けての取組みについて

南野敬介議員議会での役職
・総務産業常任委員会委員
・庁舎建替問題対策特別委員会副委員長
・大阪府都市競艇組合議会議員

新政クラブニュースは政務活動費を使用して作成しています。35,000 枚作成。1 枚単価 3.60 円。総単価 7.46 円